

令和7年第14回金ヶ崎町教育委員会定例会 会 議 録

1 開会、閉会等に関する事項

- (1) 開会 令和7年11月25日(火) 午前10時
(2) 閉会 同 午前11時
(3) 場所 役場2階201・202会議室

2 教育長及び出席委員の氏名(5名)

職名	氏名
教育長	千葉 和仁
教育長職務代理者	高橋 玲子
教育委員	八重柏 知史
教育委員	小野 タマ子
教育委員	鈴木 雅司

3 説明等のため出席した職員(4名)

所属・職名	氏名
教育委員会 教育次長	稲葉 郁子
中央生涯教育センター 所長	鈴木 敏郎
教育委員会事務局 教育次長補佐	渡邊 久美子
教育委員会事務局 副主幹	松本 浩和

4 議決事項議題及び議事の概要

議案第1号 金ヶ崎町教育委員会事業の点検及び評価に関し議決を求めることについて

事務局から10月21日に開催した金ヶ崎町教育委員会の事務の管理及び執行状況についての点検及び評価の会議結果をもとに説明した。

鈴木委員) 事業番号17について、「英語教育の町」として取り組んでいる自治体は少ないと思う。町民に対してその取り組みをどのように周知していくのか、また、そのメリットを知りたい。

事務局) 大きな目標は、グローバルな視野に立って世界で活躍できる人材育成を目指しており、コミュニケーションを重視しているもの。一方

で、児童生徒がコミュニケーションのための題材を持っていないことが課題と考えており、学校現場からは、小学校では、国語や算数の学習、中学校からは受験対策としての英語も必要という声も上がっている。英語教育の町としての周知は不十分だったと思う。

鈴木委員) せっかくコミュニケーションを学んでいるのにそれを発揮する場がないと思う。授業という限られた場でE L Tと話すだけではなく、交流できるような機会があるとよいと思う。

高橋職務代理者) 事業番号20について、特別支援学級・特別支援学校の在席検討の対象が71人というのが多いのか少ないのかよくわからないが、支援学校には何人くらい通っているのか。

事務局) 令和7年度に小学校に入学する予定児童と小中学校在席で進級の際支援学級や支援学校を検討した人数が71人。支援学校の通学児童生徒数は具体的な人数は把握していないが、毎朝役場前から委託タクシーに何人か乗って前沢明峰支援学校まで通学している。

八重柏委員) たくさんの事業の中でいくつかB評価があるが、課題がみえており良いと思う。事業番号12について、自分の周りにも不登校の子が何人かいる。未然に防ごうとして取り組まれているとは思いますが、例えば心と体の健康観察ではどのようなことを行っているのか。

事務局) 学校で児童生徒にアンケートを行っているもの。他にもQUという、授業に集中できているかなどを調べる調査も行い、児童生徒の状況を把握するようにしている。

八重柏委員) いじめ事案等で教育委員会が招集することはあるのか。

事務局) 基本は学校で対応している。内容によっては教育委員会が対応する場合も考えられる。

八重柏委員) 相談できる場所の有無が対応にかかわると思う。

小野委員) 事業番号14について、ICT教育は推進されており、学校公開など学校に行くと、子どもたちは普通にタブレットを使って勉強している。子どもにとっては普通だと思うが、指導する先生は大変なのではないかなと感じた。

鈴木委員) 多くの事業をおこなっているが、事業の見直しについては考えているか。

事務局) これから精査していく予定。

鈴木委員) 先日第一小学校の学校公開で、高谷野原の飛行場跡地には銃弾の跡があるとか、空襲で死亡した人がいるという説明があった。自分はその事実を知らなかった。戦争にかかわることだけでなく金ヶ崎町には多くの資源があると思う。せっかくの資源なので、もっとアピールしてもよいのではないか。SNSなどを活用すれば、町民以外にも広く周知されると思う。

事務局) その通り資源はたくさんあるが、その資料は多すぎて管理しきれていないのが現状。職員も少ないが、年1回は企画展を行うようにしている。

質疑等の後、教育長が採決を行い、全員一致で原案どおり承認された。

5 その他

1 2月定例会と総合教育会議の日程を確認した。

閉会